

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営 ビジョン	笑顔で登校 笑顔で下校 思いやりあふれる永久津っ子の育成 ～ 学校・家庭・地域が一体となって145年の絆のかけはしをつなぐ ～
--------------	--

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策 【学びたい度 70% (H28 59.4%)】	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知育	<p>【目標】学力向上 (子どもの将来を見据えて今の学びを考える)</p> <p>◎ 児童主体の「楽しく」「分かる」「できる」をめざし、これからの社会の変容を意識し、児童の将来を見据え責任をもった学習指導を展開することによって、学力のさらなる向上を図る。</p> <p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 主体的・対話的で深い学びの創造と確実な振り返り</p> <p>2 職員相互の認め合いと学び合い</p> <p>3 立腰指導の徹底と基本的学習習慣の定着</p> <p>4 家庭学習習慣の定着と放課後子ども教室との連携強化</p>	<p>○ 「めあて」に始まり、「まとめ」で終わる授業の流れを意識して実践できた。今後は「個々の教師の授業に対するチェックポイント」(県教委)を意識して授業力の向上に努めていきたい。</p> <p>○ 業間の時間に、Web単元テストの実施を設定したことが、活用率100%につながっていると考えられる。今後は、復習等で活用を図ったり、個に応じたきめ細かな指導を行ったりする必要がある。</p> <p>○ 本年度は、研究公開実施のため全員が公開授業を実施することにより、授業改善・授業力向上を図ることができた。今後は、他の教科においてもさらに授業力向上のために取り組んでいきたい。</p> <p>○ CRTについては、実施後に分析を行い、習得が十分でない点については補充の指導行った</p> <p>○ 立腰については、常時指導を行ってきたが、目標値を達成することはできなかった。再度職員での共通理解を図り、授業での積極的な言葉かけを行い、児童の意識化を図っていきたい。</p> <p>○ 鉛筆の持ち方については、2月の調査で目標に達することができた。今後も指導を継続し、定着率が維持できるように努めていきたい。</p> <p>○ 家庭学習の進め方については、保護者の協力もあり、目標を達成できた。全体的によく取り組むことができています。今後は個別の指導を充実し、児童の自己評価100%を目指していきたい。</p>	3	3	<p>○ 一部目標に達していないが、上がってきているのでおおむね達成と判断した。</p> <p>○ 家庭学習実態調査では保護者・教職員ともに100%であり、目標が達成されている。</p> <p>○ 勉強への取組はよいと思うが、立腰や鉛筆の正しい持ち方が若干低いのが気になる。</p> <p>○ 鉛筆の持ち方は、定期的な調査で向上して来ているのはよいことである。</p> <p>○ 鉛筆の持ち方も定期的調査を実施されているが、今後も指導の充実を図られたい。</p> <p>○ 低学年での鉛筆の正しい持ち方の指導を徹底してほしい。</p>

<p style="text-align: center;">徳育</p>	<p>【目標】豊かな心の教育推進 (生徒指導3機能生かした認める指導と体験活動の充実)</p> <p>◎ 道徳や特別活動、こすもす科との関連を踏まえた体験活動の推進による、豊かな感性と思いやりの心の育成。</p> <p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 自己を見つめ、多面的・多角的な見方を育む授業の推進</p> <p>2 基本的な生活習慣の意義を考えさせ定着推進)</p> <p>3 日本一の読書県宮崎の推進</p> <p>4 徳育集会・バースデー給食による心のふれあい推進</p>	<p>○ 研究公開は計画通り実施できた。今後も研究してきた成果をしっかり生かして、児童が考え、議論する道徳の授業を実践し、評価の充実に努めていきたい。</p> <p>○ KSSVC など、地域の方々の協力を得ることで、児童の心の成長につながるより豊かな体験活動を行うことができた。(米作り、昔の遊び、凧作り、保育士体験、かくれ念仏洞の話など) 今後も計画的に進めていきたい。</p> <p>○ 担任や職員への挨拶はよくしていることから、児童の意識としてよくできているという評価になっている。しかし、保護者や職員の評価との意識のずれがあることから、地域の方や来客、保護者への積極的な挨拶が十分できているとは言えない。誰にでも進んで挨拶できるよう継続した指導が必要である。</p> <p>○ 縦割りでの清掃活動や、定期的な清掃班編制と担当を中心とした指導を継続したことにより、児童の主體的な清掃活動が身に付きつつある。</p> <p>○ 毎週月曜日の朝の時間に、地域ボランティアの方々による読み聞かせを本年度も実施している。児童も楽しみにしており、今後も継続していきたい。</p> <p>○ 学校図書協力支援員が、図書の貸し出しや図書館設営を行っている。新刊図書を工夫して紹介するなど、児童の読書意欲を高める工夫を行ってきた。</p> <p>○ 3月現在、図書の総貸出冊数は5911冊で一人平均82.1冊である。目標は達成しているが、個人差もある。また、自己評価もあまり高くないので、さらに貸出冊数が伸びるよう、手立てを工夫しながら読書意欲を高めていきたい。</p> <p>○ 徳育集会では、命や人権、頑張る心などについて、作文を紹介したり行事に絡めて時期に応じた話をすることができた。今後も継続していきたい。</p> <p>○ 毎月1回の実施を通して、心のふれあい行うことが出来た。</p>	<p style="text-align: center;">4</p>	<p style="text-align: center;">4</p>	<p>○ あいさつや係の仕事がしっかりできているところがよい。</p> <p>○ あいさつは、高学年になるほどよくしてくれる。</p> <p>○ 学校ではよくあいさつをしているが、家庭ではしない。</p> <p>○ オープンな空間のある入りやすい図書室で新刊図書の紹介など工夫され、蔵書の充足率も図られている。読書量も他校と比較して多い。</p> <p>○ もっと読書力をつけて知識や想像力豊かな児童が増えるとよいかと思う。</p> <p>○ 校内の清掃等みんなで協力して一生懸命に取り組んでいる。</p> <p>○ 校長室でのバースデー給食は、小規模校ならではの実施であり、子どもたちにもよい経験になると思う。</p> <p>○ 最近、不審者情報が増える中、メールでの保護者への情報発信が早いのはよい。しかし、家庭の事情で下校時に安全上の不安がある児童がいると聞いた。</p> <p>○ 冬季の通学は暗く、時間調整できないか。(10～15分) また、反射たすきの着用を徹底してほしい。</p>
---------------------------------------	--	--	--------------------------------------	--------------------------------------	---

体 育	<p>【目標】健やかな心体の育成 (生きる力の元となる健康・体力を意識して)</p> <p>◎ 体力向上プランを意識した授業・体育的行事・日常の体育的活動を通して、基礎体力の向上と健康的な生活習慣の定着を図る。</p> <p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 体力・運動能力の向上</p> <p>2 危険予知・回避能力の育成と地域・保護者との連携</p> <p>3 保健指導の充実</p> <p>4 家庭・地域との連携</p>	<p>○ 体力テストの結果、児童の体力が県の平均と比べて高いことが明らかになった。本年度は体育の授業を中心に体力向上の取組を図ってきた。家庭での取組については、集会で呼びかけたり、チェックシートを活用したりしたが、実際に取り組むことが出来たのは約半数の家庭にとどまり定期的取組みを促す必要がある。今後、体力向上に向けた取組内容を検討していく必要がある。</p>	3	3	<p>○ 元気よく外で遊ぶ活発な児童が多い。</p>
		<p>○ 体育の授業改善については、全職員の共通理解のもとで実施することができた。</p>			<p>○ 運動会は5月に実施され、熱中症もなくよかった。</p>
		<p>○ 年度当初に、避難経路や避難場所の確認をし共通理解をすることができた。いろいろなパターンの避難訓練を行うことにより、臨機応変に児童が自分で自分の命を守る意識を高めることができた。今後も、短い時間を使って避難体制をとる訓練をしていくことで、さらに効果が高まると期待される。</p>			<p>○ むし歯治療率の向上、むし歯にならないための取組が必要である。特に家庭での取組が重要である。</p> <p>○ むし歯治療は、保護者の責任である。</p> <p>○ むし歯予防の教育を充実させ、むし歯治療率の向上を図ってほしい。</p>
		<p>○ 養護教諭や学級担任、委員会での取組でむし歯予防に努めることが出来た。しかし、むし歯治療率は前年度に比べて低く60.9%にとどまった。今後も個別の指導を行いながら更に治療率を高めていきたい。</p>			<p>○ 夏休み中にコミュニティバスを利用して通院するなど通院方法を考慮できないか。</p>
	<p>○ 集会で全児童に呼びかけたり、保健だよりで健康管理について家庭に啓発したりしたことにより昨年度に比べて欠席0の日が多かった。今後は、養護教諭と学級担任が連携を図り、換気や手洗い・うがいを呼びかけるなど、児童の健康に対する意識を高めていきたい。</p>				

食育	<p>【目標】望ましい食習慣の育成 (食は生きる源)</p> <p>◎ 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる基礎を育てる。</p> <p>【手段・具体的な取組】</p> <p>1 伝統的な食文化や食習慣を振り返る授業の展開</p> <p>2 食育指導の充実</p> <p>3 HPによる情報提供 (今日の給食コーナー)</p>	<p>○ 低学年では、生活科で芋作りや野菜作りを実施した。5年生の総合的な学習の時間に米作りを実施したりした。6年生は、JA主催のそばプロジェクト参加した。</p>	3	3	<p>○ 田植え、稲刈り等、いろいろと先輩の様子を見て頑張っていた。</p> <p>○ 地域との関わりもあるのでよいと思う。</p>
	<p>○ 好き嫌いなく食べる児童が多く残食がほとんどなかった。日常の給食指導では学級担任を中心に食に関する指導の充実を図ってきた。また、養護教諭と連携して全学年で食育の指導を行うことが出来た。また、給食時の放送で郷土料理の紹介をすることで地域の料理や地元の食材など関心を高めることが出来た。年間3回の「食育の日」や長期休業中の「チャレンジクッキング」を実施し、各家庭で積極的に取り組んでいただいた。</p>	<p>○ 食品ロスをなくすためにも、好き嫌いをなくし、給食や家庭の食事での食べ残しをなくす取組を継続する必要がある。</p> <p>○ 米作り、野菜作りを通して、食品の大切さを今後も学習してほしい。</p> <p>○ 給食時のはしの持ち方はいかがでしょうか。</p> <p>○ 家庭における早寝、早起き、朝ご飯等の望ましい生活習慣が15.2%の児童ができていない。子ども食堂などの必要性が言われる中、保護者への指導も必要ではないか。</p>			
	<p>○ 食育に関する取り組みの様子をホームページで紹介するなど情報公開に努めた。今後も継続して発信していきたい。</p>				

<p>次年度の方向性についての校長所見</p>	<p>本年度も保護者や地域の方々から多くの御支援、御協力を得て、学校の教育目標の達成・教育ビジョンの実現に向けて諸活動を行うことができた。次年度は、本校の教育的課題の解決に向けてさらに充実した教育活動に取り組んでいきたい。特に、学力向上を図るための授業改善など具体的な取組を進めていきたい。</p>
-------------------------	---